

本種は芦屋川畔のクロマツの樹上で鳴いていたが姿は確認できなかった。本種の声は私は初めて聞くものであったが特異な鳴き方で、その特徴をメモし、文献等<sup>1)2)</sup>により判断した。声の質はハルゼミに似ており、最初遠方で聞きつけたときは、一瞬時期はずれのハルゼミの発生かと疑った程である。

この件について芦屋市教育研究所指導主事の古市景一氏は芦屋市立山手中学校に在職当時、生徒の一人が秋にハルゼミの声を聞いたと報告して来たことがあったが、発生期にはハルゼミの声がよく聞かれる同校の生徒が本種の声聞いた事も考えられると指摘された。

1975年10月下旬、本種が北限を超えた熊本県阿蘇郡で大発生したことがある<sup>3)</sup>。これは徳之島から同地へ移植されたヤマモモ等の根に入っていた幼虫が羽化したものとされているが、造園ブームの昨今、各地で起り得ることと考え、声だけの記録ではあるが、報告するものである。

(参考文献)

- 1) 岩田久二雄ほか(1959). 日本昆虫記Ⅵ: 講談社
- 2) 橋本治二(1975). セミの生態と観察: ニューサイエンス社
- 3) 大塚 融(1977). 熊本県のセミ. 昆虫と自然12(8):23-24.

## オオシロカミキリの芦屋市における記録

西 隆 広

芦屋市においてオオシロカミキリ *Olenecamptus cretaceus* BATES を採集したので報告する。

- ① 1♂, 22. VIII. 1980 芦屋市川西町
- ② 1♂, 18. VII. 1987 芦屋市山芦屋町

①は自宅の燈火に飛来したもの、また②は路傍のヌスビトハギの葉の裏に静止していたものである。